

重要!**プリウス（ZVW30系）に取り付け時の注意事項**

プリウス追加説明

平成21年10月初旬からメーカー出荷された車両は特に注意!!

平成23年11月 1日

概要説明

トヨタのプリウス（ZVW30系）は、概ね平成21年10月初旬からメーカー出荷された車両に対して、スマートエントリーシステム&スタートシステムが変更されています。

この変更は、車両の内部的な変更（ユニットの構成、配線の関係等）のため、車両の外観または使用方法等による変更の判別はできません。変更前の車両と変更後の車両では、取付ハーネス（専用ハーネスとイモビハーネスのセット）が異なります。

変更後の車両の見分け方（下記の項目）を参照して、取り付けする車両が変更前か変更後かを確認の上、それぞれに対応する取付ハーネスを使用して取り付けを行ってください。

①変更前の車両…概ね平成21年9月下旬までにメーカー出荷された車両

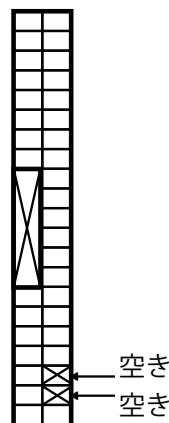
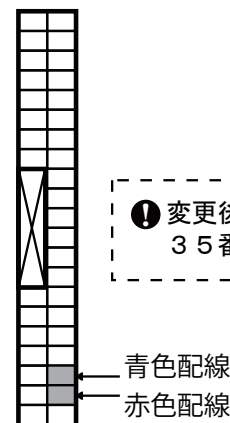
- PS1004取付ハーネスを使用してください。

②変更後の車両…概ね平成21年10月初旬以降にメーカー出荷された車両

- PS1005取付ハーネスを使用してください。

変更後の車両の見分け方

車両のスマートキーコンピュータASSYの36P白色カプラ（運転席右側にある、イモビハーネスの36P中継コネクタを割込接続するカプラ）で、以下の配線の有無を確認してください。

①変更前の車両…PS1004を使用**②変更後の車両…PS1005を使用**

- ❗ 変更後の車両は、36Pカプラの34番に青色、35番に赤色の配線があります。

車種別取付資料

BOX No. 504611

車両情報

トヨタ プリウス

ZVW30系

1/4ページ

ES-89Light

Type

N.L.

平成21年5月～

① プッシュボタンスタートシステム（スマートキー）付き車（全車）

Opt.

◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

重要！

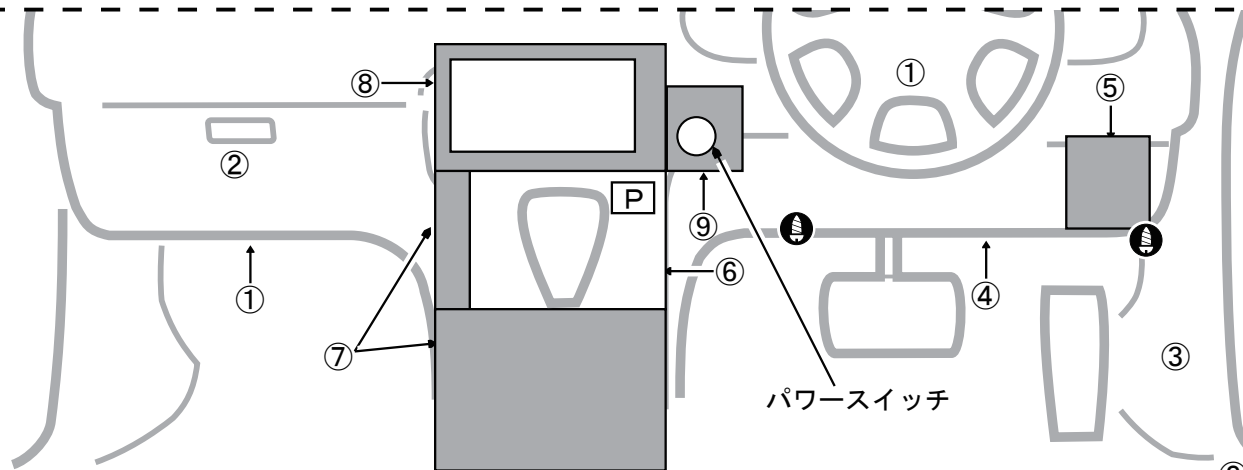
①各配線の取り付けについては、2/4～4/4ページをご覧ください。

◎作業前に必ず車両の補機（12V）バッテリー（マイナス端子）を外し、3分間放置してください。

●補機（12V）バッテリーは、ラゲージルーム下部（運転席側）のカバー内にあります。…エンジンルーム内にはありません。

●補機バッテリーを接続したままの状態、車両側のカプラの抜き差し（カバー類の脱着作業時等）を行うと、取り付けが完了して復元後にパワースイッチで車両のハイブリッドシステムを始動してシフトレバーを操作すると、メーター内右側のマスターウォーニング（！マークのオレンジ色の表示）が点灯して警告が出ます。車両側のECUにはエラーログ（ダイアグコード）が記憶され残ります。…ログは消えません。必ずバッテリー（マイナス端子）を外し、3分間放置してから作業を行ってください。

●補機バッテリー（マイナス端子）の接続は、必ず全ての接続作業が完了した後で行ってください。



① カバー類の取り外し方（運転席側）

※①コラムカバーは、フットブレーキ右上側カプラ（4P）の配線作業スペース確保のため、外して作業することをお勧めします。なお、コラムカバーのみ、補機バッテリーを外す前に外してください。…ハンドルを回さないと、正面のツメが外せないため。

①コラムカバーを外す…コラムカバー（下）を左右から押し、左右のツメを先に外し、最後にハンドルを回して左右正面の穴にマイナスドライバーを挿入して正面のツメを外し、コラムカバー（下）を外す。

②右サイドステップカバーを外す

③右サイドカバーを外す…樹脂ナット（1個）を外し、カバーを室内側に引っ張る。

④アンダーカバーを外す…左側のネジ（1本）を外し、手前側のフック（2箇所）を先に外し、カバーを奥側にスライドさせてから外す。

⑤右側のスイッチ付きパネルを外す…右下のネジ（1本）を先に外し、カバーを手前に引っ張る。

⑥シフトレバー周囲（Pポジションスイッチ付き）のカバーを外す

⑦オーディオ左側～シフトレバー後方～フタ付きカップホルダーまで一体のカバーを外す…周囲のフック・ツメを外しながら、上側に引っ張る。

⑧オーディオ（ナビ）周囲のカバーを外す

⑨パワースイッチ（一体）のカバーを外す

① カバー類の取り外し方（助手席側）

※J/Bへの接続作業を行うためには、下記の部品を順番に外してください。

①アンダーカバーを外す…手前側のフック（3箇所）を先に外すこと。

②グローブBOXを外す…左側のダンパーフックを先に外すこと。

止めネジ等



車種別取付資料

BOX No. 504611

車両情報

トヨタ プリウス
平成21年5月～

ZVW30系

2/4ページ

ES-89Light **Type** N.L.
Opt.

① プッシュボタンスタートシステム（スマートキー）付き車（全車）

① 注意事項

- スマートキータイプのエンジンイモビライザーシステムが装着されています。
- 取り付けできるエンジンスターターは、プッシュスタート専用モデルのES-89ProLigh II PSi（商品コード：ESL40）のみ。
- PSI004取付ハーネスまたはPSI005取付ハーネスを使用します。
- オートマチック車認識設定のあとスマートキーの登録作業が続けて必要になります。
- 詳細は、取扱説明書を参照してください。

① CN2ハーネスの各配線の取り付けは3/4ページを、セキュリティ機能等を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合のドア検出配線方法は、4/4ページをそれぞれ参照してください。

① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。（3/4ページ参照）

オートマチック車認識設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容（専用ハーネスの配線色）
車両配線色

① 平成23年11月までの車両はこちらに配線
フットブレーキ右上側
4P白色カブラ



専用ハーネス

STOP出力(青)
青

① 通常時：0Vで、フットブレーキを踏んだとき：12V

① 平成23年12月～の車両はこちらに配線
フットブレーキ右上側
5P白色カブラ



専用ハーネス

STOP出力(青)
青

① 通常時：0Vで、フットブレーキを踏んだとき：12V



PSI005取付ハーネスで取り付ける車種は、リレーユニットのDIP-SWの1番をONにセットしてください。

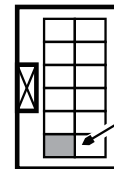
スマートキーコンピュータの下側
36P白色カブラ

PSI004 14ピンハーネス
PSI005 14ピンハーネス
36P中継コネクタを割込接続

① スマートキーコンピュータASSYの36P白色カブラに、イモビハーネスの36P中継コネクタを割込接続する。

① 専用ハーネスのアース（黒）取り付け位置：右サイド上側のアースポイントのナットに共締めしてください。

サイドカバー内左側の列
2個並んでいる上側
12P白色カブラ



専用ハーネス

12V(黄)
青

25A D. FR DOOR

① 常時12V

パワースイッチの裏側
14P黑色カブラ

専用ハーネス「T133S」
専用ハーネス「T134S」
14Pコネクタを割込接続

専用ハーネス
T133S
T134S

① 取り付け方法

- ① 専用ハーネスの14P中継コネクタを、上記のカブラに割込接続する。
- ② イモビハーネスを上記の36Pカブラに割込接続する。
- ③ 黄色/青色の2本をそれぞれエレクトロタップを使用して上記の場所に接続する。（あらかじめ接続先の配線は、テスターで電圧を確認して、確実に接続してください。）
- ④ アース（黒色）を、指定位置に固定する。
- ⑤ 12P赤色コネクタをリレーユニット（受信機）のCN1に接続する。
- ⑥ T133Sは3Pコネクタをイモビハーネスの3Pへ、T134Sは6Pコネクタをイモビハーネスの6Pカブラに接続する。
- ⑦ 6PコネクタをCN-3からの6Pコネクタに接続する

車種別取付資料

BOX No. 504611

車両情報

トヨタ プリウス

ZVW30系

3/4ページ

ES-89Light

Type N.L.

平成21年5月～

① プッシュボタンスタートシステム（スマートキー）付き車（全車）

Opt.

① 特有の注意事項

- ① セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合は、CN2のドア検出配線（紫）は、別売のドア信号検出ユニットⅡ（EP131）を使用して、必ず4/4ページに指定したとおりに接続してください。
なお、全てのドア開閉検出を行わない場合は、運転席ドア線（本ページに記載）に接続してください。
- ② エンジンスターターでアイドリング中は、スマートキーの操作等でのドアロック/アンロックは作動しません。また、エンジンスターターによるアイドリング停止後は、スマートキーの操作（ドアノブを握る）でアンロックはできません。…リモコンのSTOP操作でエンジンを止めてから、キーレスエントリーでアンロックをしてドアを開けてください。
なお、Lightのリモコンによるアンロック操作は、アイドリング中も停止後も可能です。

- ① CN2のPポジション配線（青）を必ず接続してください。
また、A/T車設定は、本ページの左下に記載した手順で、フットブレーキを使用して設定を行ってください。

- ① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

オートマチック車認識設定

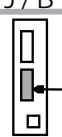
配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）ブレーキを放す。
- ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤ 設定完了
※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

J/B内下側
40P白色カプラ



- ① ホーンの配線先は、こちらでもOK。

ホーン(緑)
空色

- ① セキュリティ機能を使用する場合のみ配線

- ① 平成23年12月～の車両はこちらに配線
フットブレーキ右上側
5P白色カプラ



Pポジション(青)
青

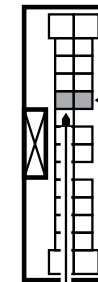
- ① 平成23年11月までの車両はこちらに配線
フットブレーキ右上側
4P白色カプラ



Pポジション(青)
青

- ① 必ず配線してください。
(通常時：0Vで、フットブレーキを踏んだとき：12V)

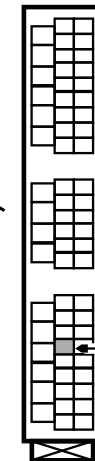
サイドカバー内左側の列
2個並んでいる下側
26P白色カプラ



ドアロック(灰)
緑

アンロック(黄)
紫

サイドカバー内中央の列
64P白色カプラ



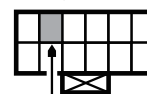
- ① 運転席ドア開閉のみ検出

運転席ドア(紫)
茶

オートライト(白)
茶

- ① 機能付き車のみ配線

コラム下側
12P黒色カプラ



ホーン(緑)
黄

- ① セキュリティ機能を使用する場合のみ配線

車種別取付資料

BOX No. 504611

車両情報

トヨタ プリウス
平成21年5月～

ZVW30系

4/4ページ

ES-89Light

Type N.L.
Opt.

❶ プッシュボタンスタートシステム（スマートキー）付き車（全車）

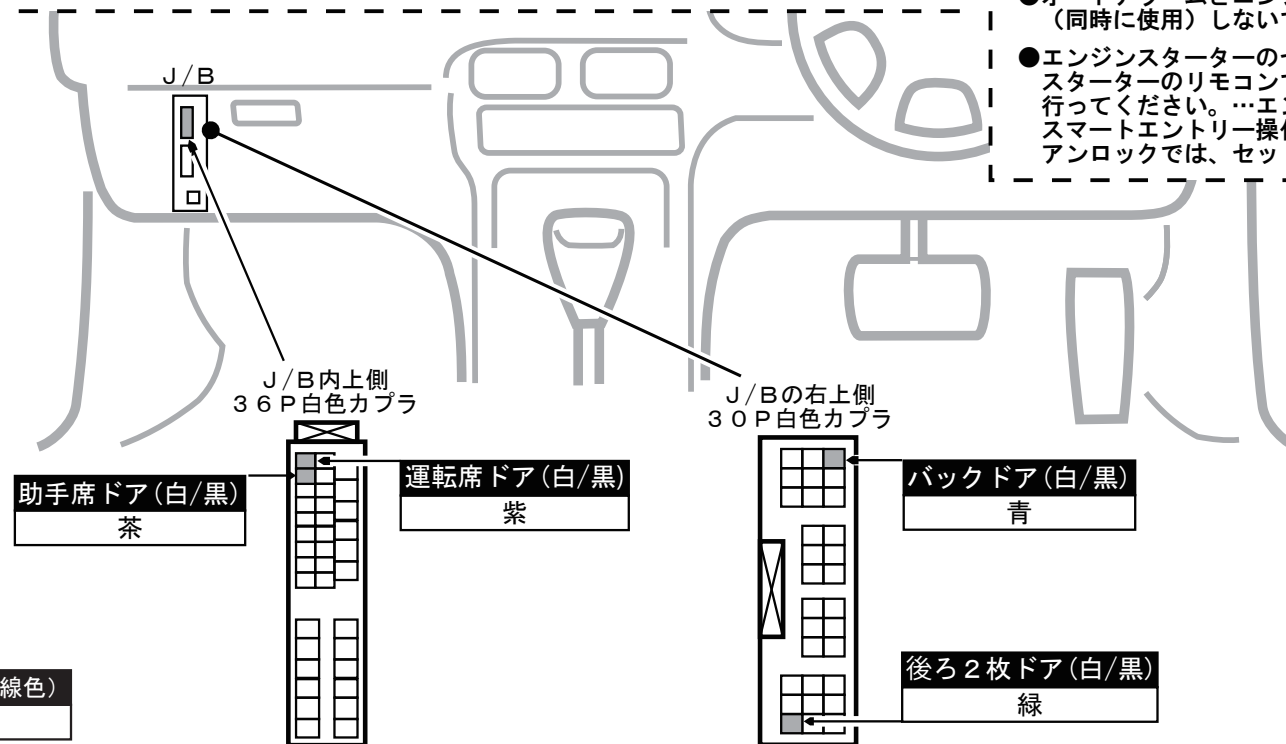
❶ セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合は、別売のドア信号検出ユニットⅡ（EP131）を使用して、CN2のドア検出配線（紫）は、必ず下記の4箇所に分岐接続してください。

❶ 特有の注意事項…上記に該当する場合

- ※CN2のドア検出配線を、必ず本ページで指定された位置に接続してください。
- ※ドア検出配線を、指定された箇所以外の場所に接続された場合、以下の機能等が使用できません。
- ①セキュリティ機能は、使用できません。
- ②オートロック機能は、使用できません。

❶ 純正オートアラームについての注意事項（機能付き車のみ）

- 車両に装着されているオートアラーム（盗難発生警報装置）は、エンジンスターターでのドアロック操作では、セットされません。…基本的には、エンジンスターターのセキュリティ機能を使用してください。
- 車両のオートアラームを使用する場合のみ、必ず車両のスマートキー等でロック/アンロック操作を行い、セット/解除を行ってください。
- オートアラームとエンジンスターターのセキュリティ機能は、併用（同時に使用）しないでください。…誤動作の恐れがあります。
- エンジンスターターのセキュリティ機能を使用する場合は、必ずエンジンスターターのリモコンでロック/アンロック操作を行い、セット/解除を行ってください。…エンジンスターターのセキュリティ機能は、車両のスマートエントリー操作、またはキーレスエントリー操作によるロック/アンロックでは、セット/解除されません。



配線内容(受信機CN2線色)
車両配線色